心理学・教育学委員会・言語・文学委員会・哲学委員会・社会学委員会・
史学委員会・地域研究委員会・情報学委員会合同
デジタル時代における新しい人文・社会科学に関する分科会
（第 25 期・第 4 回）
議事要旨

日　時：令和３年１１月２６日（金）14 時 00 分～17 時 00 分
会　場：オンライン会議
出席者：川嶋四郎　佐藤嘉倫　西田眞也　矢野桂司　隠岐さや香　奥田太郎　木部暢子　近藤康久　下田正弘　永崎研宣　橋本隆子　金水敏　大平英樹　久留島典子　（参考人）山田太造　後藤真　橋本雄太（名簿順、敬称略）
（オブザーバ）文科省学術企画室
議　題
（１）前回議事要旨の確認
前回議事要旨を確認し、承認された。

（２）デジタル時代における日本社会の通時的・共時的な研究の動向
1. 東京大学史料編纂所山田太造准教授より、日本史研究におけるデジタル化への取り組みについての報告が行われた。

2. 国立歴史民俗博物館後藤真准教授より、同博物館を中心とした日本史研究のデジタル化への取り組みについての報告が行われた。

3. 国立歴史民俗博物館橋本雄太助教より、歴史研究に向けたクラウドソーシング翻刻プラットフォーム「みんなで翻刻」についての報告が行われた。

4. 東北大学佐藤嘉倫教授より、日本の社会学におけるデジタル化の現状と課題についての報告が行われた。
5. 名古屋大学隠岐さや香教授より、西洋史研究の観点からの現状報告とコメントが行われた。

以上の報告の後、ディスカッションが行われ、日本史データの分析可能性、人文学におけるデジタル化に関する制度設計、史料デジタル化における歴史学という枠組みの持つ意味、研究評価とキャリア構築等についての議論が行われた。

（３）第 25 期の活動計画
1. 1 月シンポジウム
事務局に提案書を提出したことが報告された。

2. 3 月分科会
「デジタル化に関する教育」をテーマとし、立命館大学及び東京大学等の事例を採り上げることが議決された。

3. 提言等の成果公開に向けて
3 月の分科会に向けて Slack で議論して素案をまとめることが議決された。